

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5年 3月 27日

事業所名 キッズガーデンSeeds

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1		●戸外での運動や遊びを入れるなど、スペースの確保も考えて活動内容を工夫している。	●一人で過ごす部屋があると良い。→どうしても必要な場合は使用していない時間帯であれば児童発達支援の部屋が使用できないか検討する。
	2	職員の配置数は適切である	3	2			●配置数的には問題はないが、感染症等で職員が休んだ時や個別対応の安全面を考えて人員不足ではと感じることがある。●外出や体験などの活動をする上で職員の割り振りで苦慮している面はある。ただ、職員数が単に増えても解決するかは分からない。各々が技能を磨いていけたらより良いかと思う。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	4		●玄関は段差があるが、室内は段差が少ない。	●入退室の際は必ず職員が傍で見守るなどして危険の無いように支援している。●今後、肢体不自由児の利用があれば改善していく必要があるかと思う。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3	2		●半年ごとに半期の振り返りと反省を行い、上司との面談を行っている。	●全員が目標設定と振り返りを半期ごとに行っている。各々が業務改善を意識しながら日々業務に当たるようにしていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			●ホームページで公開している。情報発信のページでも伝えられている。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	3			●行っていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	1		●コロナ禍の中、動画等での研修は行ってきた。	●導入しているシステムで動画を使った研修も可能なので、意識して自ら学びスキルアップにつなげていくようにする。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5			●各職員の意見も出してもらって作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	2			●立案にほとんど関わっていない職員もいる状態。各々がもっと考えや意見を出していくようにしていく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1		●利用児の興味や季節的なものなどを考慮して考えるようにしている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	2		●それぞれの職員の意見を朝礼やノートで共有している。	●課題をきめ細やかにまでは至っていない。各々の職員で対応している部分もある。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			●朝礼に職員が揃わない場合はノートで共有している。	
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		5			●その日には難しいので後日分からない点などは個別に尋ねるようにしている。記録の支援経過を見るようにしている。●勤務日数や時間の関係などで難しい面もあるが、必ず共有すべき情報は日報やノートに記入している。→個人差もあるように感じるので、定期的に記録を見ていくなどの心掛けも必要になるかと思う。	

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1			●支援の検証は全職員と出来ているとは言えない。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	3	2		●当事業所の環境に合った活動をしていると思う。また、個々の利用者に合わせた支援をしている。	●ガイドラインの全てを組み合わせることは出来ていないが意識して行っている。●ガイドラインを時々見直すように心掛けていく。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5				
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			5	●現在（これまでも）医療的ケア児の受け入れは無い。●持病や既往歴等については保護者に尋ね対応できるようにしている。	●医療的ケア児を受け入れたことが無く分からないが、受け入れた際には病院等とも連携を取って行きたい。●今後受け入れた場合には事業所担当医などとも連携が必要。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	2			●相談支援事業所を通じて行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	3			●相談支援事業所を通じて行っている。●過去にそのようなケースもあったが今年度は無かった。今後考えられるので情報提供するようにしていきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている			4	1	●全員が研修に参加できると良い。●研修を受けられる機会があれば参加していく。●コロナ禍で連携が難しい面もあったが、今後必要なケースでは助言等も受けられるとよいかと思う。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	3	1	●近隣の公園や公共施設などでの活動で、場を共有する機会を設けるようにはしている。	●保護者の中には交流を望んでいない方もいる。現段階では交流の機会を持つ予定はないが、今後も保護者の方の意向は確認していきたいと思う。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	4	1			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5				
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	3	1	●ペアレントトレーニング等には至っていないが、事業所内相談などは行っている。	●必要性があれば行った方が良いと思うが、職員の専門性も必要なので自己研鑽に励むようにする。
保護者への	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			●契約の時に行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	3	1		●令和4年度は保護者会開催の方向で動いていたが、コロナの感染が拡がり見送っている。来年度以降、開催できるとよいと思っている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5				

説明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1		●重要なことは適宜書面で伝えている。長期休暇中の活動予定はお便りを配布している。また、活動の様子についてはブログに掲載するようにしている。
	35	個人情報に十分注意している	5			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			●子どもそれぞれの理解力に合わせて配慮している。保護者とは送迎時に話をするように努めている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	3		●コロナで難しかった面もあるが、近隣のゴミ拾いや散歩などの活動で少しでも関わりを持つとはしてきた。また、講師に招いた活動も行った。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	2		●玄関にマニュアルを置いているものもあるが、保護者への周知までには至っていない。今後周知方法を検討していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5			●やむを得ず必要がある場合には支援計画に記載、保護者への説明、同意を得ている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	4		●契約（アセスメント）時にアレルギーの有無については必ず確認している。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5				

